

歴民だより

歴史民俗資料館

令和2年度 8月号 No.82

郷土の先人紹介

安八町出身の日本画家 まえ だ いち おう
前田 一 鶯



▲水墨山水（前田一鶯の作品）

安八町森部出身の前田一鶯は、大正から昭和初期まで京都を中心に活躍した日本画家です。また、父の反対にあいながらも絵画への夢を追いかけ、自己の信念を貫き通した生涯を送りました。

一鶯の信念は、帝展等で何回入選という肩書ではなく、あくまでも自己の描法にこだわり続けるというものでした。

師匠の山元 やまもと しゅんきよ 春挙 ※1 に学び、特に山水画が巧みで雨や雪の景色は他の追随を許さぬ彼独自の技法をもっていました。数々の展覧会に作品を出品し、その画才を賞賛されました。

絵は、皇族である久邇宮邦彦王や昭和天皇皇后良子陛下のご成婚記念の際にも献上されています。

町では42点の「前田一鶯作品」を所蔵しており、ハートピア安八歴史民俗資料館にて作品を展示しています。

※1・・・明治から昭和初期京都画壇の重鎮で風景画、山岳画に秀でていた。

ハートピア安八
- 歴史民俗資料館 -

住所：岐阜県安八郡安八町氷取30
お問合せ：0584-63-1515